

ニューヨーク育英学園 保護者各位

下記のようなアンケート調査の依頼がありました。学園では研究に関して協力をしてきております。参加は任意です。ご協力頂ける方は直接、連絡して頂くことになります。皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

学園事務局
2/28/2011



子どもの人を許す行為に関する研究
アンケート調査ご協力をお願い

保護者の皆様

こんにちは。George Mason Universityの心理学部修士課程に所属しております渡辺直美と申します。

現在、「子どもの人を許す行為」をテーマに研究計画を立て準備を進めています。人を許すというのは子ども達が成長するにつれて習得していく大切な社会能力の1つです。近年、「人を許すこと (Forgiveness)」は発達心理学の研究主題として欧米で注目を集めてきていますが、まだ日本人を対象にした研究はあまり進んでいません。そこで、今回の研究では日本人の子どもたちの「人を許すこと」についての傾向やそれに関わる感情、親の子育てについて調査したいと思っています。

この研究の対象は、日本と米国在住の小学校4年から中学校2年の日本人生徒（日本外生まれ、ハーフのお子さんも含みます）とその保護者の方です。当初はワシントンDCエリアのみで米国在住の被験者を集める予定でしたが、十分な被験者が集まらず、他州の日本語学校にも協力をお願いすることになりました。

調査方法は、アンケート調査になります。アンケートは匿名での回答になりますので、回答者の個人情報研究に使われることはありません。また日本語版と英語版を準備していますので、どちらか読みやすい言語を選んで頂けます。そして、回答方法は印刷されたアンケート用紙とオンラインサイトの二つの選択肢があります。調査期間は3月の1日から3月の20日までです。

この調査に協力して頂ける場合、nwatanab@gmu.eduまでご連絡下さい。ご住所、アンケートの希望の言語、そして回答方法をお知らせ頂ければ、研究協力同意書 (Informed consent) とアンケート用紙／オンラインサイトのリンクを郵送いたします。アンケート回答後、同封いたします返信用の封筒に回答と同意書を入れて返送して頂きます。研究について不明点等ございましたら、いつでもご連絡下さい。

この研究が子どもの発達の更なる理解につながり、子育てと教育方法の向上に貢献できるよう取り組んでおります。お忙しい中大変恐縮ですが、ぜひ調査にご協力いただけますようお願い申し上げます。

渡辺直美
心理学部応用発達心理学修士課程
ジョージ・メイソン大学
nwatanab@gmu.edu
(703) 606-7072

担当教授
Susanne A. Denham, Ph.D.
University Professor, Director
Applied Developmental Psychology
George Mason University
sdenham@gmu.edu